

わつた～バス新聞



わつた～バス党あさとばん幹事長、あさとゆうこ党首、かみうんてんはやお改革推進委員長とアーリーみちよ改革推進副委員長、受賞者の皆さん



最優秀賞作品のラッピングバスと車内に掲示された入賞作品(右上)

乗せて走る「夢バス」にぜひ乗つてみてくださいね。最優秀賞作品は4台の路線バスの車体にラッピングされ、バス車内には入賞作品も掲示されて実際に運行しています。子供たちの素敵なものも楽しめます。子供たちの素敵なものも楽しめます。

「毎年思うんだだけど子供たちの感性がすごい！色合いで島と島をつなぎたい」という想いとか、「ホント感動！チムドンドンするさ～（ゆうこ）」「子供たちの発想が実にユニークで、夢や優しさがあふれていて、そのとき見た島でもこのバスが走ったらい

り」とコメント。島でもこのバスが走ったらしいのにな～！」とコメント。

◎応募総数、過去最高の1790点入賞作品18点が決まりました！

今年で3回目の実施となりました。「かなえ！夢バス图画コンクール」。「あつた～なは、こんなバス」をテーマに、離島を含む沖縄県内すべての小学校全学年を対象に自由な発想で「夢のバス」を募集し、198校の学校から過去最高の応募総数1790点が寄せられました。審査は、わつた～バス党のあさとゆうこ党首、あさとばん幹事長、かみうんてんはやお改革推進

委員長、アーリーみちよ改革推進副委員長をはじめ、バス会社各社（琉球バス交通・那覇バス・沖縄バス・東陽バス）、沖縄県、そして、絵本作家として県内外で活躍中のクリエイティブインルーム代表・しろませいゆうさんらが行い、18点の入賞作品が決定。

10月31日、県庁1階ロビーにて、シーサーやエイジヤー、宇宙など、自由な感性が表現された彩り豊かなバスの絵が展示される中、表彰式が行われました。最優秀賞の一リュウキュウヤマガメバ

ス」を描いた小川陽翔（はるか）さん（久米島町立大岳小学校3年）以下、優秀賞、各バス賞、入賞作品にそれぞれ賞状と賞品が贈られました。

◎ラッピングされた夢バスの登場に大興奮！

とさん（久米島町立大岳小

3年）以下、優秀賞、各バス

ラッピングされた夢バスに手を振つてお見送り。感動のうちにセレモニーは終了しました。

「今年は離島からの応募、そ

して男子や高学年の中の受賞者が例年より多く感じましたね。

どれも素晴らしいです。審査は本

当に悩みました。選ばれたみ

なさん、本当にうれしかったです。

「（しろま）」「私は

も子供の頃から絵を描くのが好きで、賞をもらったときはうれしかったです。自分の絵

がラッピングバスになった体験は人生の宝物。大切にしてくださいね！」（はやお）

「子供たちの笑顔をたくさん見られて幸せです。夢バスは

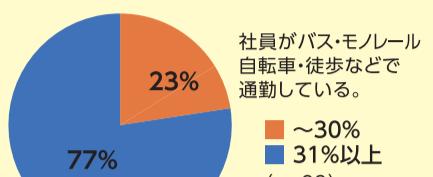
色もデザインもかわいくてTシャツやグッズにしたいで

す。私も沖縄のバスを良くす

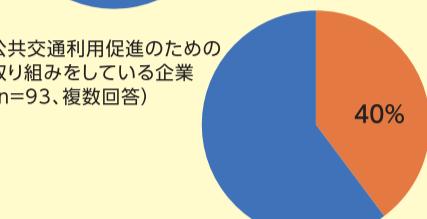


「夜のひ～んやりバス」
石垣市立登野城小学校3年／たかはられおさん

■沖縄県が県内企業に対して「通勤時の公共交通利用状況についてのアンケート」を実施！



公共交通利用促進のための取り組みをしている企業
(n=93、複数回答)



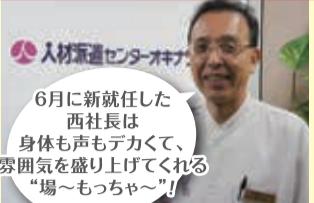
93社中、社員の3割以上が公共交通（徒歩・自転車含む）を利用していける企業は23%。社員の半数以上が公共交通を利用している企業は40%。また、4割の企業が公共交通利用促進のために「通勤手当は自家用車より公共交通を優遇」などの取り組みを行っていました。

“わった～会社のナンバーワン！”をお聞きしました！



CONCEPLEX

バス通勤歴&通勤距離がNO.1の小瀬さん！
うるまセンターへももちろん路線バスで5年間通勤中！



人材派遣センター・オキナワ

6月に新就任した西社長は身体も声もデカくて、雰囲気を盛り上げてくれる場～もっしゃ～！



うちの社員の砂川さん！

「日本の城」に関するうんちくはで～じ最高さ～！

法人党員、続々増えてます！

今期、新しく加わった法人党員のみなさんをご紹介します。

◆りゅうぎん保証株式会社
代表取締役社長 上原智さん

りゅうぎんの住宅ローンや教育ローン等への融資における保証業務を行う会社です。社員の多くが公共交通を利用する中、社員の健康づくり意識をさらに高めたいと入党を決意。渋滞緩和への貢献、バス停の往復を歩くことで健康増進＆リフレッシュ効果にも期待します。今後は会社でノーマイカード実施や休日の公共交通利用を推奨したい。わった～バス党のCMやラジオ番組は親しみやすく社内でも好評です。

◆株式会社人材派遣センター・オキナワ
取締役総務部長 慶田城厚さん

今年で創立33周年を迎える県内第1号のりゅうぎんグループの人材派遣会社です。派遣スタッフ250名余が約90社の取引企業様で活躍中。社員全員と派遣スタッフの多くがバス・モノレール通勤者で、公共交通機関の利用促進と企業のイメージアップが図れることから入党を決意。法人党員として、公共交通機関の推進に向けたイベント参加やモニタリング調査他、清掃ボランティア等があればぜひ協力したいです。

◆日本コンセントリックス株式会社
人事部人事企画部長 北島崇之さん

アマゾン様のサポートセンターなど外資系コールセンター、多様なジャンルの業種・業界別のBPOサービスを行う創立27年目の企業です。沖縄の社員約500名の半分ほどが公共交通を利用し、一部部署では時差出勤も実施。昨年度よりバス広告を利用することでバスに親しみを感じ、社内のバス利用のさらなる意識向上にならざりと入党を決めました。今後はバス党有志でバス停周辺の定期清掃などに協力したいです。

詳しく述べる人がいたり、笑い声も上がるなどして白熱した様子で座談会が開催されました。

www.watta-bus.com

わった～バス党 検索



～沖縄の公共交通の未来のために～
「わった～バス党法人党員」
およびサポーターを募集中！

OLばす美の
人間観察日記

沖縄もやっと涼しくなり、これから身体を動かすにはぴったりの季節。ここで提案したいのがバス！目的地までドア-to-ドアの車と違い、バスなら自宅からバス停まで必ず歩きます。例えばバス停まで徒歩10分であれば、往復で20分。

沖縄もやっと涼しくなり、これから身体を動かすにはぴったりの季節。ここで提案したいのがバス！目的地までドア-to-ドアの車と違い、バスなら自宅からバス停まで必ず歩きます。例えばバス停まで徒歩10分であれば、往復で20分。

コラム
◆バスを使って健康づくり！
あなたも気軽に始めてみませんか？

2017年9月19日、沖縄県とわった～バス党が協力し、バス利用者増加に向けた取り組みとして、「バス利用促進座談会」を開催しました。今年はバス事業者と沖縄県高等学校PTA連合会、那覇商工会議所青年部等が一堂に会し、わった～バス党のあさとゆうこ党首、あさとばん幹事長、かみうんてんはやお改革推進委員長、アーリーみちよ改革推進副委員長らも顔を揃えました。

はじめに参加者が3グループに分かれ、「20年後のバスに追加された新機能は？」といつたお題に対し、自由でユニークな意見やアイデアを出すアイスブレイクが行われました。続いて、昨年度の座談会で行われました。

最後は各グループが発表した具体的なアイデアをひとつに絞り、実施する方法を話し合いました。座談会は2017年11月9日(木)に第2回を実施。2018年1月には「振り返り＆展望」をテーマに第3回が行われる予定です。



【第1回バス利用促進座会】
が開催されました。

【第1回バス利用増加へ向けた取り組み】
が開催されました。



【第1回バス利用増加へ向けた取り組み】
が開催されました。



わった～バス党のSNSも盛り上がってますよ！

今期からわった～バス党のFacebookとInstagramがスタート。Facebookではバス待ちのバス停、バス車内など、通勤の合間に考えた「バス通大喜利」を実施中！毎週のお題をチェックしてね。また「バスのある毎日」をテーマに、車窓からの眺めやバスにまつわる写真を募集する「バスフォトコンテスト」も開催中！ハッシュタグ「#わった～バスフォト」を付けてInstagramで投稿しよう。詳しくは、わった～バス党Webサイトへ！



高校生やお年寄り、通勤者などのバス利用者

やバス事業者から出された、「バス停の時間や区域を延長して欲しい」「SNSを活用してバス利用について話し合う場を設ける」外国人向けの指差しMAPをバス会社と協働制作等の提案を振り返り、その実現に向けてさまざま意見や課題をグループ内で話し合いました。各アイデアを対象、方法、効果、場面（場所）のカテゴリー毎に洗い出し、一枚大きな紙に手書きでまとめる中、立ち上がりて意見を述べる人がいたり、笑い声も上がるなどして白熱した様子で座談会が進行。

高校生やお年寄り、通勤者などのバス利用者やバス事業者から出された、「バス停の時間や区域を延長して欲しい」「SNSを活用してバス利用について話し合う場を設ける」外国人向けの指差しMAPをバス会社と協働制作等の提案を振り返り、その実現に向けてさまざま意見や課題をグループ内で話し合いました。各アイデアを対象、方法、効果、場面（場所）のカテゴリー毎に洗い出し、一枚大きな紙に手書きでまとめる中、立ち上がりて意見を述べる人がいたり、笑い声も上がるなどして白熱した様子で座談会が進行。

高校生やお年寄り、通勤者などのバス利用者やバス事業者から出された、「バス停の時間や区域を延長して欲しい」「SNSを活用してバス利用について話し合う場を設ける」外国人向けの指差しMAPをバス会社と協働制作等の提案を振り返り、その実現に向けてさまざま意見や課題をグループ内で話し合いました。各アイデアを対象、方法、効果、場面（場所）のカテゴリー毎に洗い出し、一枚大きな紙に手書きでまとめる中、立ち上がりて意見を述べる人がいたり、笑い声も上がるなどして白熱した様子で座談会が進行。